

たねやま種雄牛だより

Since 2004.4

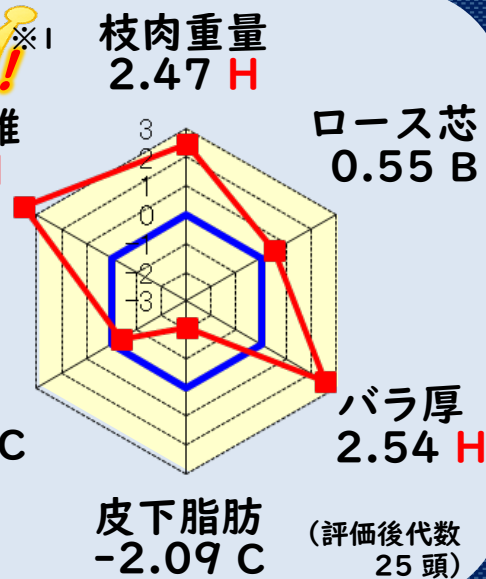
岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室 TEL: 0197-38-2312 FAX: 0197-38-2177

育種価更新！「菊美翔平」2期連続で脂肪交雑1位！！

令和6年9月の育種価において、2期連続で「菊美翔平」及び「福太郎3」が全国トップクラスの評価、「百合花智」及び「美津貴」が脂肪交雑でH評価となりました。

菊美翔平

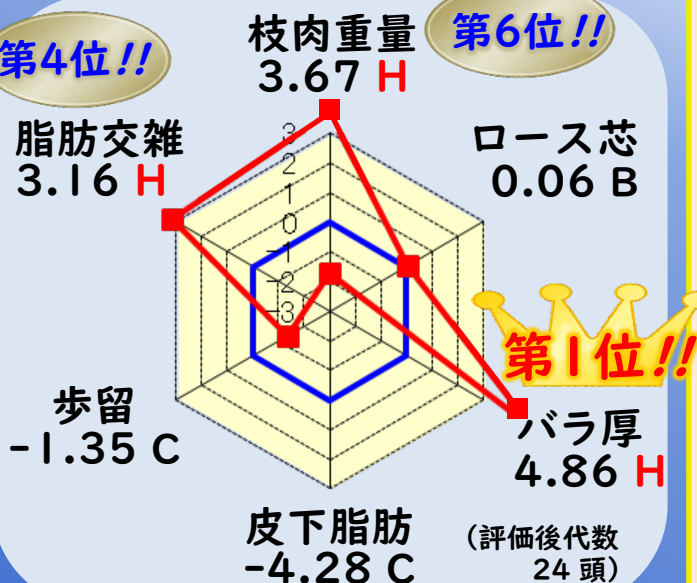
第1位!!



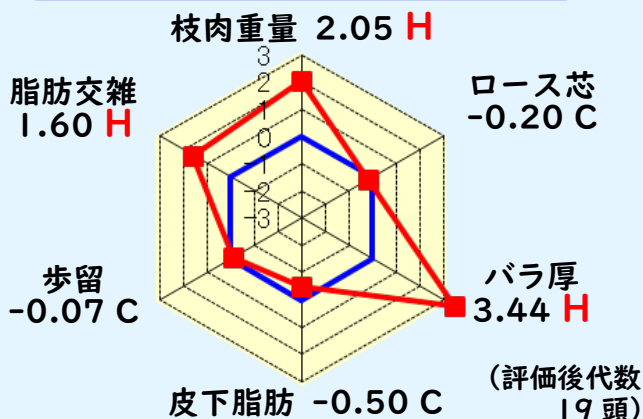
福太郎3

第4位!!

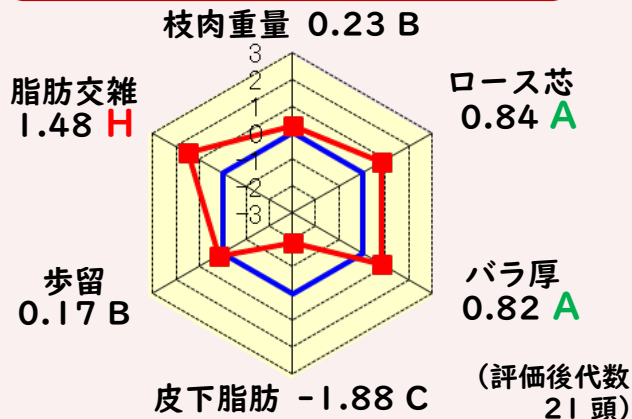
第6位!!



百合花智



美津貴



※1 順位は評価の対象となる民間及び他県等の種雄牛を含む 3,187 頭中の順位です。

枝肉6形質の育種価について

育種価は、個体の血統情報とその個体と血縁関係にある肥育牛の枝肉成績を用いて推定する**遺伝的能力の指標**です。

遺伝的能力の推定値なので「推定育種価」といいます。「推定育種価」は、改良基礎世代（昭和50年生まれの牛群）の遺伝的能力の平均値に対する、個体の遺伝的能力の優劣を数値で示したもので、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留基準値及び脂肪交雑基準値の「枝肉6形質」について算出しています。（公益社団法人全国和牛登録協会の令和6年9月評価）

本県では、枝肉6形質の遺伝的能力をレーダーチャート（左頁）で示し、種雄牛の特徴をわかりやすく示しています。これは、各形質の育種価を標準偏差単位（ σ （シグマ）値）を用いて示したもので、県内の供用中雌牛集団の育種価の平均値をゼロとし、その牛が**集団の中でどこに位置するか**を表しています（下図）。

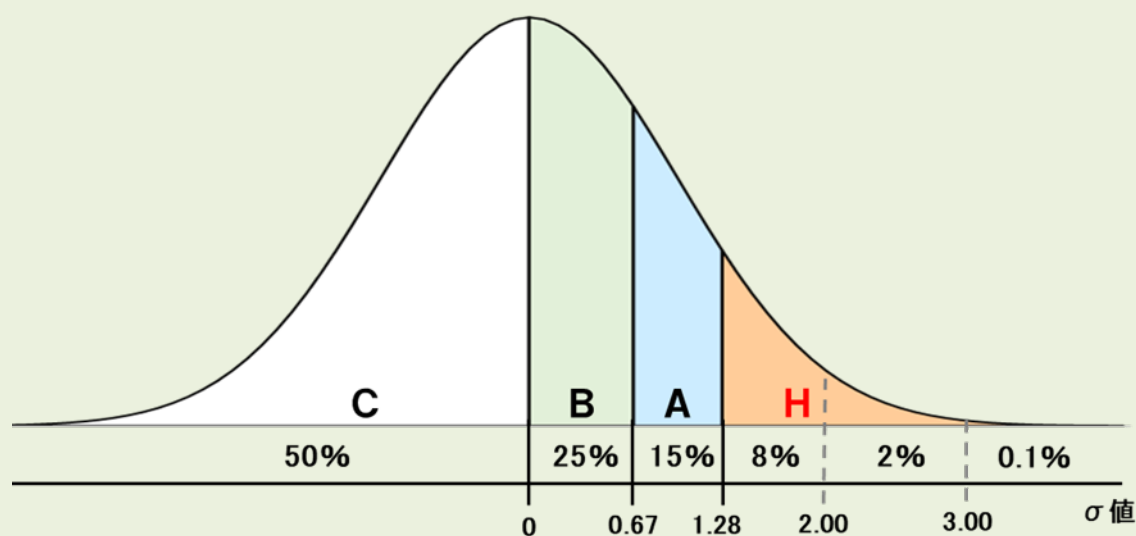


図 母集団の分布モデル※2

※2 アルファベットは、「H」が1.28 σ 以上で**上位10%以内**、「A」が0.67 σ 以上1.28 σ 未満で**上位11%~25%**、「B」が0 σ ~0.67 σ 未満で**上位21%~50%**、「C」が0 σ 未満で**下位50%**を示しています。

「**菊美翔平**」の脂肪交雑3.51 σ は**上位0.0224%以内**、「**福太郎3**」のバラの厚さ4.86 σ は**上位0.000000588%以内**であり、数値としての遺伝的能力は、実際の順位である1位/3,187頭（上位約0.03%以内）よりも高く、**H評価の中でもずば抜けている**ことが分かります。



～種山の情報誌・SNSはこちらのQRコードからチェック～
← 【たねやま種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバー
Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →

